

## 『新日本科学 二十一世紀の経営戦略』

新日本科学の二十一世紀の経営戦略をお話します。

人間は脳の二〇〇%のうち、五%くらいしか使っていません。残りの九十五%は潜在意識というもので、これがいろいろな物事を直感的に判断するのに重要な役割を果たしているわけです。

この潜在意識をうまく利用することができるか否かによってその人の人生の満足度が決まると言えます。潜在意識の中に正しい考え方を刷り込んでいくことが大切です。これは日々やらなければならぬことです。いろいろなやり方がありますが、企業理念というものをしっかりと皆さんに伝えます。イントラにも掲載し、常に携帯してもいいものも準備します。こうして日常的に皆さんの潜在意識の中に記憶してもらい、うまく利用してもらって皆さんとともに会社が成長していきたいと思えます。

- 1 企業哲学を再認識してもらう
- 2 経営理念を明確に理解してもらう
- 3 組織の再構築を行う
- 4 人事制度を見直す
- 5 教育制度を見直す

これら五つはそれぞれが大切で、同時に、同じような力の配分で行う必要があります。この五つの柱を中心に、皆さんと一緒に大変革をやっていきたくと思います。

### 1 企業哲学について

企業哲学には五つあります。

- ア 企業理念・ビジョン
- イ 企業理念・ミッション
- ウ 倫理綱領
- エ 薬師の誓い
- オ 五か条の社員心得

ア 新日本科学「企業理念」のビジョン

環境、生命、人材を大切にすることを会社であり続ける。

SZBRのロゴマークになる三色について説明します。

青は、青い空、青い海、素晴らしい地球」を永遠に保とう。

緑は、かけがえない「生命」。大切な「命」に畏敬の念を持ち続けよう。

紺は、社会の財産は「人材」、人が人材であるための「心」を大切にしよう。  
という意味です。

これが新日本科学の企業理念のビジョンです。

ロゴマークのそれぞれ三色の色を潜在意識の中にきちんと刷り込んで、「この色を見たら感覚として環境、生命、人が出てくるようになるまで身に付けます。

## イ 新日本科学「企業理念」の使命「MISSION」

「創薬と医療技術の向上を支援し、人類を苦痛から解放する事を絶対的な使命とします。」

「医薬品開発の支援」という表現を「創薬」と「医療技術の向上」を支援する」という言葉にしました。  
た。

「苦しみから救う」ということが重要で、患者さんの病気が治ったけれども苦しみからは開放されないのでは本末転倒です。これが我々の企業ミッションです。

## ウ 新日本科学の「社員倫理綱領」

私達は、憲法の精神を支持し、

法令を厳守し、社会規範を尊重し、

知的な紳士淑女として社会の模範となることを強く意識して行動します。

改めて皆さんとそれぞれ誓約書を交わり、毎年、これを見直して、お互いに誓いますということをやりたいと思います。大事な部分ですので、評価の対象とするような制度を後から構築していきたいと思えます。

これはごく当たり前のことですが、当たり前のことが出来なくて消えていく企業が多く見られます。世の中に存在するものはすべて無から存在し、いすれ無に還っていくわけです。「これは宇宙の法則であり、新日本科学も例外ではありません。存在する間にどれだけのことができるか、ミッションを果たすことができたか、社会に貢献できたかが重要です。社会に貢献できている間は社会が必要としているわけですから、存在し続けることができ、企業はさらに規模を拡大していくことができます。私は新日本科学が百二十周年まであり続けるのだと常にこの中で確信して皆さんにお話しているわけです。これには根拠があり、その根幹がこの社員倫理綱領なのです。  
さらに行動の基準として細かく分類します。」

一 私には、良識のある大人の社会人と言われる言動を約束します。

社会人として、大人としての言葉と行動をすることを常に潜在意識の中に刷り込んでいた  
だきたいと思えます。

二 私は、帰属する組織の名誉を代表していることを認識しています。

一人であっても新日本科学の組織の人間であれば、新日本科学を代表していることになり  
ます。社外の人と接するときには、この一人ひとりの行動が組織を代表していますので、皆さ  
んには組織の名譽を守っていただきたいと思えます。

### 三 私はいかなる時も企業理念と倫理綱領に立脚した行動をとります。

企業理念と倫理綱領に立脚した行動をとることが大切です。

### 四 私は、業務上で知り得た個人と企業の秘密保持を厳守します。

業務を通じて、臨床試験では患者さんの情報を得ます。また、会社では、同僚の個人情報  
や企業情報を得ます。顧客からは、いろいろな機密情報を入力するわけですが、それを第三  
者に漏洩するようなことがあっては絶対にいけないということです。これは、企業と個人を守  
る上で最も大切なことです。守秘義務はしっかりと守っていただきたいです。

### 五 私は、不正行為が罰せられる前に自らそれを罰する勇氣を持ちます。

不正行為は絶対にしてはいけない常に正しいことをしなければならぬということを常に  
この中に刷り込んでいたいただきたいということです。当社では定期的な行政査察があり  
ますが、平常心で臨んでいただきたい。アメリカでは通知無しに突然FDA査察が行われます。  
完璧な日々の作業、データの整備が大事です。日常においては「魔がさす」ということがあり  
ますが、それが習慣ついてもしまつと怖いもので不正行為が当たり前と錯覚してしまつもの  
です。逆に常に正しいことをしなければならぬという良い習慣を身に付けていただきたい。ど  
ちらになるかは皆さん次第です。私は当然後者を人材として救い上げていき、どんどん会社  
の中枢に取り入れます。前者のような人間は新日本科学には必要ありません。

## 「新日本科学の『薬師の誓い』」

- 一 私達は、地球の環境保全に参画しています。 **環境保全**
- 二 私達は、何よりも命に敬意を払います。 **生命の尊厳**
- 三 私達は、人類の健康回復を支援しています。 **創薬支援**
- 四 私達は、人類の健康増進を応援しています。 **健康増進**
- 五 私達は、人類の医療向上に寄与しています。 **医療向上**
- 六 私達は、人類の疾病予防に挑戦しています。 **予防衛生**
- 七 私達は、絶対的な安心を追求しています。 **入権保全**
- 八 私達は、研究の安全基準を遵守しています。 **法令遵守**
- 九 私達は、積極的に協働しています。 **仕事の姿勢**
- 十 私達は、確実性を大切にしています。 **評価の基準**
- 十一 私達は、仕事とともに成長しています。 **成長志向**
- 十二 私達は、人類の幸福に貢献しています。 **仕事の目的**

これらの十二項目を完璧に実行することはいかぬことですが、一年は十二ヶ月ありますので、  
毎月一ずつ皆さんが好きな目標を掲げて、この十二の項目を一つひとつ、一年かけて、毎年、潜  
在意識の中に刷り込んでいきましょう。常に「こころ」であつて、行動に表すことができるようになり

まじゅう。

」の中で

**十 私達は、確実性を大切にしています。(評価の基準)**

特に、確実性については、評価の基準になりますので大事です。我々の仕事は確実でなければなりません。評価の基準は確実性であるということです。

**十一 私達は、人類の幸福に貢献しています。(仕事の目的)**

仕事をやる目的は皆さんの幸福、社会の幸福、全人類の幸福です。健康で、幸せに暮らしていきたい。これが皆さんの望むことではないでしょうか。思い方一つで大きな違いです。山登りをするか追われて山に登るのかでは、人生を幸せに暮らせるのか、不平不満の合唱で苦勞しながら暮らしていくのか、「これらには大きな違いが出てきます。この違いを決めるのは、私ではなくて、皆さんの一人ひとりの「こころ」です。皆さんの潜在意識にきちっと刷り込んで、正しい方向に持っていつて下さい。

自らが意思を持って行動すれば、傍目から見るととても辛そうでも本人は問題ないということになります。私もよく「たいへんですね」と言われますが、まったくそうは思っていません。本人がどう思つかが大切です。そこがこの薬師の誓い「の中にあるパワーです。十二項目の言葉で表されていますが、「これを皆さんに心のパワーとして持つてもらいたい」と思い、「この薬師の誓い」を作ったのです。

**オ 新日本科学の「五ヶ条の社員心得」**

- 一 私 は、即実行する社員です。
- 二 私 は、誠心誠意尽くす社員です。
- 三 私 は、真実を伝える社員です。
- 四 私 は、先見性を持つ社員です。
- 五 私 は、仕事に誇りと責任を持つ社員です。

五ヶ条の社員心得として、それぞれ五ヶ条に主語を持ってきました。また、従来の第五条の表現を少し変えました。本質的に内容は同じですが、以前は、してはならない、という否定形で強制的でしたので、前向きな表現に変更しました。また、この行動指針五ヶ条は皆さんに携帯用のカード入れとともに配布します。

## 2 新日本科学の「経営理念」

経営理念というのは私が戦略として皆さんに示すベクトルであり、私自身の目標でもあります。

**会社と社員が共に成長する職場であり続ける。**

これは私が目指す「こころ」の経営理念の本質です。「これにも十二項目あります。私も皆さんと同

じようび、毎月二つずつ、一年かけて実行していき、完璧なものにしていきたいと思っています。これについても私から皆さんに行動評価をお知らせします。皆さんはそれに対して評価して下さい、お互いに評価し合う関係となるわけです。

**一 私には、大欲を持って事業を行います。**

大欲というのは大きな欲望ではありません。大欲は無欲に通じます。大きな大きなことを成すための欲のことです。まずは自分のためから、家族のため、そして会社のため、日本のため、人類のためと大きな欲を持つことを意味します。

**二 私は、社会に貢献する組織作りに努めます。**

社会に貢献する組織でないと社会から活かされないわけですから、新日本科学が有であり続けるための必要条件です。仕事を通じて社会に貢献していきます。

**三 私は、利益を社会と株主に還元できる経営を行います。**

新日本科学は毎年税金を払っています。税金を払うことで社会に貢献しています。税金は会社が払っていますが、会社は組織であり、組織は皆さん一人ひとりの個人から成り立っているわけです。皆さん一人ひとりが税金を払っているということになりますから、皆さんは新日本科学の社員であることを誇りに思ってください。また、新日本科学は株式公開を目指しますので、それが実現すれば千名を超えるたくさんの株主ができると思えます。皆さんも株主だと思えます。株主にしっかりと利益を還元できる経営を私は行います。

**四 私は、新規事業のリスクを恐れず、勝利するまで挑戦し続けます。**

新規事業をたくさん行っています。それぞれ確かに大きなリスクがありますが、リスク&ベネフィットで均衡を保って、リスクを恐れず、勝利するまで諦めずに挑戦し続けます。失敗した多くの人は、途中で諦めた人達ですが、一歩でも前にいける人こそが成功を手にすることができるのです。本質が正しければ成功するまで諦めないという強い意志が大切です。

**五 私は、経営方針を明確に示し、全社員に共通の目的意識を持たせます。**

その一環として今こうして皆さんに話をしているわけであり、皆さんには明確に経営方針を示します。最近は朝礼にもなかなか出ることができず、支社毎に朝礼をしていることもありまして、一堂に会して話をする機会が少なくなりましたが、イントラを使って皆さんに語りかけていくことを続けていきたいと思っています。その中で皆さんに共通の目的意識を持っていただこうと思います。また、支社には毎月一回は行きますので、そのときに集まっていたいて、直接話したいと思っています。仕事の都合でなかなか会う機会の少ない人もいますが、私の行く時期は事前にわかると思いますが、なるべく時間を取る努力をしていただき、また上司の方も時間を作ってあげる努力をしていただきたいと思います。

**六 私は、明確な指揮命令系統と機動力のある柔軟な組織を創ります。**

指揮命令がいろいろなところから来ると、その人は非常に戸惑っわけですから、明確な指揮命令系統・コマンドラインを創ります。そして機動力のある柔軟な組織を創り、助けが必要なところがあればそこに力を注ぐようにしていきます。定期的に行政査察がありますが全社一丸となって対応して欲しいと思います。全社一丸となるということとは、みんなを一つにするということです。

**七 私は、ガラス張りの経営を行い、情報の共有化ができる職場環境を創ります。**

私は、既にかんりの情報を皆さんに発信していますし、皆さんが多くの情報にアクセスできる情報を取りにいける環境を整えています。情報が足りないと言われる方もいるでしょうが、情報は取りに行けば溢れるほどあります。情報が足りないと言っ人は努力不足です。重要な情報は自分から取りに行かないと得られないものです。私はそれを経験的に学んできましたから、自ら海外頻繁に赴くようにしているのです。情報の共有化ができる職場環境は私が整備しますが、情報を取りに行くのは皆さんです。努力なくして必要な情報は得られません。

**八 私は、経営者マインドと卓越した能力を持つリーダーを養成します。**

一人ひとりの社員が経営者マインドを持つということが、二十一世紀を生き残る会社には絶対必要です。自分は役員ではないから関係ないという言い訳は通用しません。少なくとも現時点で皆さんは新日本科学の社員です。そのためには、経営者マインドは持っていなければならぬということです。これが経営理念です。皆さんの多くは家に帰れば、家族を養う立派な経営者です。私と違っのは従業員がいないということで、責任の度合いや種類が違っだけです。今後、会社が生き残るためには卓越した優秀な能力を持つリーダーが必要です。そういった人材を養成するために、社外での研修も行います。他の企業と比べて優秀な人材を一人でも多く養成していきます。

**九 私は、いかなる困難があっても、事業の自己責任を完遂します。**

世の中には失敗しても責任を取らぬ経営者が多く見られますが、私は、新日本科学の社長として、事業に全ての責任を負います。自己責任を完遂することはこういうことですが、私は、困難に立ち向かい、絶対成功することを信じています。

**十 私は、自らのセンターの感受性を高め、自己実現を達成します。**

マスコットの話をしたことがあると思いますが、自分自身をどう高めていくかが大切です。私は、自分の感受性を高め、みんなを鍛錬して自己実現していきます。

**十一 私は、顧客とみんなのシンクロナイズを徹底して維持します。**

お客さんとのみんなの融和を経営理念として掲げます。色々なわがままを言っお客さんにもいますが、根幹となるみんなのシンクロナイズです。それは日々のお互いのコミュニケーションによって

築かれるのです。

**十二 私は 人類の健康 保健 医療に貢献する企業を目指します。**

我々新日本科学グループは、人類の健康 保健 医療に関連する事業を行うことを企業理念に掲げます。

### 3 組織構築

それぞれ個人の強みと弱みを認識し、相互補完する、人組み型の組織を構築します。

言葉に表すと簡単ですが、現実的にこういった組織を構築するのは非常に難しいことです。

人にはそれぞれ強みと弱みがあります。皆さんに心理学に基づくテストをしてもうって、それぞれの強みと弱みを科学的に数値化しました。それによって個人の弱みを補完し合う組織を色々とシミュレーションしています。今の組織から徐々にその組織の方向に変えていくつもりです。

現在進行中の仕事がありますから、すぐに変えるというわけにはいきませんが、お互いを補完しあえる最適な組織ができると思います。

大きなプロジェクトを成功させようとした場合、それぞれを組み合わせることで、最適な組織を形成して、不可能と思われたこともやり遂げることができるようになります。こういった組織を人組みとして構築していきます。

皆さん、自分のデータを見てそれぞれ自分の強み、弱みをもう一度見て下さい。弱いところを自分でやるうとすることはたいへんな苦痛ですから、弱いところは誰かに補完してもらおう。強いところをどんどん伸ばしていくことが非常に効率的です。

### 4 人事制度

企業と社員が共に成長していける自律成長型の人事制度を構築します。

社員が成長すると会社が成長します。社員の成長なくして会社の成長はありませんから、共に成長していける人事制度を構築します。その中で新日本科学に最適な人事制度を皆さんで創って下さい。私が自分で作って皆さんに押しつけることはしません。皆さんが新日本科学に最も適した人事制度は何かをよく考え、そして会社と社員が共に成長していける人事制度を考えて下さい。

### 5 教育制度

経営者と社員がともに企業哲学と経営理念を反復 徹底して潜在意識に刷り込み、自利利他の精神とともに自己実現を目指して成長して行く、積極的参画型の研修を習慣づけることです。

企業哲学と経営理念を色々な場面で何回も何回も反復していくということです。

自利利他ということとは、他人のために尽くすということが自分のためにもなるという仏教の教えです。なかなか難しいことですが、これは真実です。この精神とともに自分を高めて自己実現を目指すということです。現実の社会は、すべて人間の心によって形成されていることを悟ることが大切です。人間は、本質的にわがままです。でも、人生の目的を知って、真の本質を理解してく

